

2025年度（令和7年度）第4回定時理事会 議事録

[1] 開催：2025年12月17日（水）13:00～18:30

- ・会議形式：実会議とインターネット・ウェブ会議（ZOOM）併用
- ・実施会場：Japan Sport Olympic Square 14F 岸清一メモリアルルーム（東京都新宿区）

[2] 出席（理事32名、監事2名）：

岩城光英、山倉紀子、仲井公哉、和田知子、大塚眞一郎、鈴木貴里代、伊藤一博、中山俊行、関根明子、山根英紀、上田藍、石井なおみ、森幸、坂田洋治、豊岡正康、小田英男、大村真人、中山偉久、宮本悦子、北村格一、須山浩光、村上幸生、池淵功寛（以上、理事23名会場出席）
岸田吉史、富川理充、佐藤圭一、菊池日出子、高谷正哲、谷真海の場美友紀、笠次良爾、大関辰郎（以上、理事9名オンライン出席）
秋山智昭（オンライン）、荻原政吉（会場）（以上、監事2名出席）

オブザーバー（7名）

事務局顧問（1名）中山正夫

専門委員会（4名）村瀬訓生（メディカル・アンチドーピング委員長）、若山源二郎、石橋沙織（エイジグループ普及委員会）、巖淵京（マルチスポーツナショナルチーム）

強化本部（2名）忽那静香、稲田大輝

事務局出席（10名）坂田洋治、児玉健太、則俊直哉、長江千明、大岩葵、内藤裕也、秦絵莉香、島村直子、小池賢、萩原舞

[3] 議事の経過

定款第6章（理事会）第34条（決議）により、進行役の則俊マーケティング・事業局主任が、利益相反による一時離席などについて説明の後、理事出席を一人ずつ確認し、定足数を満たしていることを報告した。定款33条（議長）により、岩城会長が議長として開催宣言を行い、同第23条（理事の職務及び権限）による会長及び業務執行理事の職務執行状況を報告した。その後、定款第35条（議事録）により、岩城会長、荻原監事を議事録署名人、大塚専務理事、森理事を議事録確認の署名人とし、議事録作成者に事務方を指名して議案の審議に入った。

[4] 審議事項

第1号議案）前回議事録

2025年度第4回定時理事会（9/4）議事録案について、メール回覧済であるとの児玉事務局次長の報告があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項1）2025年度第4回定時理事会（9/4）議事録案

第2号議案) 大会事業関連

標題の件について、事務方から報告があり、質疑応答の後に、承認事項3) について、中山常務理事が棄権の旨を表明したが、棄権1名、賛成多数で承認可決した。なお、中山常務理事の棄権理由は、2026年国内エリート大会の日本選手権の出場枠のあり方について議論が十分でないと考えられるためである。

- ・承認事項1) 2026年国内大会計画 (国際大会・選手権大会)
- ・承認事項2) 2026年各種ランキングシリーズ概要
- ・承認事項3) 2026年国内エリート大会/エイジ日本選手権出場基準
- ・承認事項4) 2027エイジグループ IF/AF選手権 日本代表出場基準
- ・承認事項5) 2026クラブサポートプログラム

第3号議案) 強化関連

標題の件について、事務方から報告があり、質疑などの後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項1) 2025シーズン総括と2026年基本方針・本部体制
- ・組織体制の変更 (2026年1月1日から適用)
オリンピックナショナルチーム：
田山寛豪 (変更後：担当コーチ兼タレント発掘育成チームオリンピックU23ヘッドコーチ／変更前：次世代ヘッドコーチ)
倉内千紘 (変更後：担当コーチ／変更前：次世代コーチ)
武友綾巳 (変更後：タレント発掘育成チームT4/T3リーダー／変更前：次世代コーチ)
パラリンピック・ナショナルチーム
菊池日出子 (変更後：パラリンピック発掘コーチングディレクター／変更前：ナショナルコーチ)
田口恭輔 (新規：パラリンピック育成アシスタントスタッフ)
マルチスポーツ対策チーム
巖淵京 (新規：マルチスポーツ対策チーム スタッフ)
- ・承認事項2) 2028ロサンゼルスオリンピック日本代表選考基準策定委員会
 - ・選考基準策定委員会委員 (6名)
上治丈太郎 (NF顧問) 外部有識者
湯尻淳也 (NF顧問弁護士) 弁護士・外部有識者
的場美由紀 (NF理事) 弁護士
関根明子 (NF理事) オリンピアン
富川理充 (NF理事)
大塚眞一郎 (NF専務理事)
- ・承認事項3) オリンピック・ナショナルチーム基準関連
 - ・3-1) JOCオリンピック/ネクストオリンピック強化指定選手・推薦基準
 - ・3-2) オリンピック・ナショナルチーム次世代プログラム

- ・ 3-3) ワールド/アジアトライアスロン公式大会・トライアスロンジャパン出場推薦基準
- ・ 3-4) ワールド/アジアトライアスロン公式大会・派遣基準<2025年1-3月>
- ・ 3-5) 2026NTTランキング (エリート/U23/ジュニア)
- ・ 3-6) タレント発掘・育成プログラム<タレント名称>案
- ・ 3-7) 認定記録会・年齢区分と距離の変更方針
 - ・ 説明骨子) 2026年10月以降の認定記録会について、15歳以下の参加者促進を目的にスイム距離の短縮を行う。U15 400m→200m、U12 200m→100m、U10 100m→50m、U8 50m→25m。

- ・ 承認事項4) パラリンピック・ナショナルチーム基準関連
 - ・ 4-1) 2026年パラリンピック・ナショナルチームプログラム
 - ・ 4-2) 2026年パラリンピック・ナショナルチーム次世代プログラム
 - ・ 4-3) 2026年パラリンピック・タレント育成プログラム
 - ・ 4-4) 2026ワールドトライアスロン パラトライアスロン公式大会 選考基準
 - ・ 4-5) 2026アジアトライアスロンパラ選手権・コンチネンタルパラカップ 選考基準
 - ・ 4-6) 2026ワールド/アジアトライアスロン【パラ】公式大会派遣基準
 - ・ 4-7) 国際クラシファイヤーIF推薦候補
 - ・ 推薦候補 (3名) 中田綾子(東京)、鷲塚浩二(東京) 白石勝(東京)

- ・ 承認事項5) マルチスポーツ関連
 - ・ 5-1) アイアンマン・プロメンバーシップ<プロステイタス・発行基準>
 - ・ 5-2) 2027年ワールド/アジアトライアスロン ロングディスタンス選手権出場推薦基準
 - ・ 5-3) 第6回アジアビーチゲームズ (2026/三亜) 選考基準 (案)
 - ・ 5-4) 第6回アジアビーチゲームズ (2026/三亜) 派遣基準 (案)

- ・ 承認事項6) 強化本部推薦関連
 - ・ 6-1) 日本スポーツ賞
 - ・ 推薦候補 (1名) 高橋侑子 (東京)
 - ・ 6-2) 日本パラスポーツ賞
 - ・ 推薦候補 (1名) 保田明日美 (愛知) *新人賞候補

第4号議案) 技術審判メディカル関連

標題の件について、事務方から報告があり、質疑などの後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・ 承認事項1) 大会医療救護指針の更新案
- ・ 承認事項2) 技術代表 (TD) と審判長 (HR) の推薦と承認基準2026
- ・ 承認事項3) 2026年国際大会・日本選手権等のTD_ATD_HRの推薦
 - 1) 国民スポーツ大会 (2026/青森) (2026年9月13日)
技術代表: 鹿内 卓也 (第1種/青森)
審判長: 小出 寛 (第1種/青森)
 - 2) 日本ロングディスタンストライアスロン選手権 (2026/佐渡) (2026年9月6日)

技術代表：秋場 和久（第1種／新潟）

審判長：忠 竜夫（第1種／新潟）

3）ポカラATC（2026年3月21日・22日）

TD：小金澤 光司（L3a神奈川）

4）徳興ATC（2026年4月11日）

TD：小林 裕明（L2／神奈川）

5）横浜WPCS（2026年5月15日・16日）

ATD：小金澤 光司（L3a／神奈川）

6）大阪城ATC（2026年5月31日）

ATD：墨 さちえ（L1／神奈川）

FR：古郷 康介（L2／滋賀）

7）アジアパラカップ千葉※（2026年10月11日）

ATD：海野 浩（L2／神奈川）※WPCへ変更

8）トンヨンWTC（2026年10月24日・25日）

TD：鈴木 貴里代（L3b／愛知）

9）香港WTC（2026年11月8日）

TD：渡邊 英夫（L2／神奈川）

10）宮崎WTC（2026年11月15日）

ATD：小林 裕明（L2／神奈川）

- ・承認事項4) 技術委員会ブロック代表技術委員推薦依頼
- ・承認事項5) トライアスロンジャパン競技規則改訂（デジタル版の更新、紙版の廃止）
 - ・説明骨子）発行形式はデジタル版のみ（紙媒体の製作なし）、公式HPにて2026年2月中旬予定ダウンロード可能とする。
- ・承認事項6) 公認審判資格制度「新規・更新基準」

第5号議案）国民スポーツ大会関連

標題の件について、事務方から報告があり、質疑などの後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項1) 国民スポーツ大会 競技距離等の変更提案に関する基本方針
 - ・基本方針）国民スポーツ大会を地域の普及発展と持続可能な次世代のタレント発掘育成モデルへと変革するため、競技距離のスプリント化と少年の部の新設を検討するため検討を行う。事業企画委員会、強化本部、事務局を中心に開催地の加盟団体等と準備状況などのヒアリングを行い、ターゲットとする開催年などの検討を行う。
- ・承認事項2) 2026青森国スポ（トップアスリートの予選会免除と参加資格特例措置適用）
 - ・説明骨子）第80回国民スポーツ大会（青森）では予選会免除対象大会の申請は行わない。トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置の適用はオリンピックナショナルチームプログラムとリンクをさせ、2026年4月1日に対象選手を定める。
- ・承認事項3) 第81回国民スポーツ大会（2027/宮崎）競技会会期
日程：2027年9月19日（日）

*本会期予定：令和9年9月25日（土）～10月5日（火）

会場：宮崎県宮崎市 | みやざき臨海公園特設会場

第6号議案) 組織関連

- ・承認事項1) ロゴの変更
- ・承認事項2) 諸規程関連の変更
 - 2-1) 役員選任規程
 - 2-2) 謝金支給規程
 - 2-3) 専門委員会・組織運営規程
- ・承認事項3) 顧問の推薦（1名）

中村 利秋（なかむら としあき）氏

同氏が経営する企業において社会で活躍できる女性アスリートの育成に取り組んできた実績を有し、女性アスリート支援の新たな在り方を示すとともに、スポーツ界の発展に寄与してきた卓越した見識を有するため。

第7号議案) 財務関連

標題の件について、事務方から報告があり、質疑などの後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項1) 横浜銀行（横浜WTCS開催に伴う短期借入）
ワールドトライアスロンシリーズ横浜大会のスポーツくじ助成の精算払いまでの運営資金として横浜銀行より短期借入をJTUの名義で実施。
 - 金額：1億円（上限額）利息調整
 - 調達時期：2025年12月
 - 返済期日：2026年7月31日（予定）
- ・報告事項) 2025年度執行状況(報告)

[5] 報告事項

報告事項1) トライアスロン大会の安全対策調査の協力依頼（村瀬訓生/メディカル・アンチドーピング委員長）

報告事項2) 大会参加誓約書の記述の追記の検討

報告事項3) JOC国際人養成アカデミー参加報告（巖淵京/マルチスポーツ対策チーム）

[6] WEB会議関連の特記事項

議長に代わり事務方が、審議に関わるインターネット接続等において聞き取れなかったことや、発言できなかったことなどが無いかを確認した。格別な発言がなく、インターネットによる議事進行は滞りなく行われたことを確認し報告した。

[7] 閉会挨拶

事務方から次回理事会、社員総会のスケジュール等の事務連絡の後、閉会挨拶を山倉副会長が行い、18時30分に閉会した。

(岩城光英・議長・会長・代表理事)

2025年 12月 17日

(荻原政吉・監事)

2025年 12月 17日

(秋山智昭・監事)

2025年 12月 17日

(大塚眞一郎・専務理事)

2025年 12月 17日

(森幸・理事)

2025年 12月 17日